



2021年1月18日

各 位

会 社 名 株式会社 大庄
代表者名 代表取締役社長 平 了寿
(コード：9979 東証第1部)
問合せ先 常務取締役管理本部長 野間 信護
(TEL. 03-5764-2229)

当社グループのコロナ禍における経営方針について

今般の新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえた、当社グループの経営方針について、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 基本方針

新型コロナウイルスの感染拡大により、飲食業界を取り巻く経営環境は非常に厳しい状況が続いております。しかしながら当社グループといたしましては、この厳しい状況の中においても軸をぶらさず、「人類の健康と心の豊かさに奉仕する」という企業理念のもと、以下の基本方針にこだわって事業運営を行ってまいります。

- ①企業理念にある多くの人々の幸せを追求するため「利他の心」を持って、誠実な店舗運営・業務運営に努める。
- ②当社の強みである技術を持った調理人の育成をはじめとして、人材育成に引き続き力を入れると共に、従業員の雇用を守りぬく。
- ③「旬」と「素材」を活かした手作りの和食にこだわり「日本の台所」としての役割を果たすと共に、日本の食文化と居酒屋文化の発展に貢献する。

2. 取組み施策について

足許では、政府より再び緊急事態宣言が発出され、今後も不透明な状況が続いておりますが、このような状況を真摯に受け止め、今後の業績改善を図るため、以下の施策に取り組んでまいります。

(1) 店舗政策

新型コロナウイルス収束後における生活様式の変化や、宴会・インバウンド需要の回復が当面見込めないこと等を想定し、定食系の業態開発など、消費者ニーズに適応した業態の在り方に着眼しつつ、各店舗別に今まで以上に踏み込んだ見直しを行い、スピード感を持って「スクラップ&ビルド」を推進してまいります。

(2) 事業ポートフォリオの見直し

店舗施策の踏み込んだ見直しに注力する一方、現状の飲食事業の厳しい経営環境を踏まえ、事業ポートフォリオの抜本的な見直しにより事業の選択と集中を行う事で全社的な事業最適化を目指し、会社全体の収益力の改善を図ってまいります。強化する事業について、具体的には以下の通り取組みを推進してまいります。

・テイクアウト／デリバリー事業

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い以前より強化に取り組んでおりますテイクアウト・デ

リバーリー事業につきましては、消費者の外食控えの傾向が今後も継続し、イートイン店舗の経営環境は当面厳しい状況が予想される中、収益の柱となる重要な中核事業の一つとして、巢ごもり需要を踏まえた大庄ならではの継続的な商品開発や、新たな施策を交えて拡大・強化してまいります。

・流通／物流機能、外販事業

外販事業を含む流通・物流機能につきましては、外部飲食店等のあらゆるニーズにワンストップでお応えし、大庄が持つ社内リソースを広く外部へご提供する「総合支援プラットフォーム」として、機能強化・業容拡大を図ってまいります。併せて外販事業については、コロナ禍において活況であるスーパーや量販店等の小売店への販売強化や、販路拡大等を引き続き図ってまいります。

(3) その他経費削減等の取組み

経費全般の削減につきましても引き続き各経費について取り組んでおりますが、品質管理の徹底を基本に、さらに踏み込んだ新たな対策も含め、以下の施策等を推進してまいります。

- ・原価率 食材仕入ロットの縮小化、グランドメニュー品目の絞込み、営業時短や休業対応も含めた廃棄ロス管理の徹底、仕入部隊である商品本部の購買力強化
- ・人件費／人材施策
 - 店舗及び本社人員の再配置と効率化
 - 雇用維持とスキルアップを同時に図れる関係会社等への出向の導入検討
 - 事業ポートフォリオの見直しに伴う新たな事業に対応する人材育成及び再配置
- ・地代家賃 店舗・不動産の賃料減額交渉及び保証金一部返却交渉の継続
- ・支払手数料、通信費等 本社部門経費も含め取引先との折衝による値下げや契約の見直し等
- ・その他 店舗オペレーションの徹底による修繕費等の削減
 - 店舗システムの入れ替えによるシステム関連維持費用の削減
 - A I ・ I O Tを活用した抜本的な業務効率化推進、間接部門のコンパクト化 等

以上の各施策へ取り組んでいく事で、企業価値の向上を目指し業績の改善を図ってまいります。株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上